

be English Logic and Expression III Smart

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、TASK1・2のような形で表しています。参考にお使いください。□

1st Zone: The World Around Us

単元目標	・動詞や助動詞を適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会の未来について、考えを英語でまとめることができる。 ・「街の活性化」をトピックにしてプレゼンテーションをすることができる
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L1: TASK 1・2, SHARE & WRITE Step3 L2: TASK2, SHARE & WRITE Step3 L3: SHARE & WRITE Step3	L2: TASK1 L3: Presentation1	L1: SHARE & WRITE Step4 L2: SHARE & WRITE Step4 L3: TASK, SHARE & WRITE Step4
知識・技能	目標	<知識> 動詞や助動詞について理解している。 <技能> 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、伝え合う技能を身につけている。	<知識> 動詞や助動詞について理解している。 <技能> 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、話す技能を身につけている。	<知識> 動詞や助動詞について理解している。 <技能> 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、書く技能を身につけている。
	a	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会の未来について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会の未来について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会の未来について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、何とか英語で伝え合うことができる。	c 助けがあれば、動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、何とか英語で話すことができる。	c 助けがあれば、動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会の未来について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	私たちが暮らす社会の未来について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	私たちが暮らす社会の未来についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	私たちが暮らす社会の未来について、論理的に詳しく書くことができる。
	a	私たちが暮らす社会の未来について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	私たちが暮らす社会の未来についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	私たちが暮らす社会の未来について、論理的に詳しく書くことができる。
	b	私たちが暮らす社会の未来について、話して伝え合うことができる。	私たちが暮らす社会の未来についての情報を、話すことができる。	私たちが暮らす社会の未来について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、私たちが暮らす社会の未来について、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会の未来についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会の未来について、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	私たちが暮らす社会の未来について、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会の未来について、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会の未来について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	私たちが暮らす社会の未来について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会の未来について、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	私たちが暮らす社会の未来について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	私たちが暮らす社会の未来について、伝え合う姿勢が見られる。	私たちが暮らす社会の未来について、話そうとする姿勢が見られる。	私たちが暮らす社会の未来について、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、私たちが暮らす社会の未来について、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会の未来について、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、私たちが暮らす社会の未来について、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression III Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、TASK1・2のような形で表しています。参考にお使いください。□

2nd Zone: Arts and Entertainment

単元目標	・形容詞や副詞を適切に使うことができる。 ・時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、考えを英語でまとめることができる。 ・「スポーツ／音楽の重要性」をトピックにしてスピーチをすることができる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L4: TASK 1・2, SHARE & WRITE Step2 L5: TASK 1・2, SHARE & WRITE Step2 L6: SHARE & WRITE Step2	L5: TASK2 L6: Speech	L4: SHARE & WRITE Step3 L5: SHARE & WRITE Step3 L6: TASK, SHARE & WRITE Step3
知識・技能	目標	<知識> 形容詞や副詞について理解している。 <技能> 形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、伝え合う技能を身につけている。	<知識> 形容詞や副詞について理解している。 <技能> 形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、話す技能を身につけている。	<知識> 形容詞や副詞について理解している。 <技能> 形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、書く技能を身につけている。
	a	形容詞や副詞を適切に用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 形容詞や副詞を適切に用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 形容詞や副詞を適切に用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b 形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c 助けがあれば、形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか英語で話すことができる。	c 助けがあれば、形容詞や副詞を用いて、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、論理的に詳しく書くことができる。
	a	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、話して伝え合うことができる。	b 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについての情報を、話すことができる。	b 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか話して伝え合うことができる。	c 助けがあれば、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについての情報を、話すことができる。	c 助けがあれば、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、伝え合う姿勢が見られる。	b 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、話そうとする姿勢が見られる。	b 時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c 助けがあれば、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c 助けがあれば、時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression III Smart

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、TASK1・2のような形で表しています。参考にお使いください。□

3rd Zone: Reflecting on the Natural World

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、英語でまとめることができる。 ・「世界のすべての原子力発電所を廃止すべきである」を論題にしてディベートをすることができる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L7: TASK 1・2 L8: TASK 1・2, SHARE & WRITE Step3 L9: SHARE & WRITE Step3	L9: Debate	L7: SHARE & WRITE Step4 L8: SHARE & WRITE Step4 L9: TASK, SHARE & WRITE Step4
知識・技能	目標	<知識> 名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 <技能> 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、伝え合う技能を身につけている。	<知識> 名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 <技能> 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、話す技能を身につけている。	<知識> 名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 <技能> 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、書く技能を身につけている。
	a	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、論理的に詳しく書くことができる。
	a	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、論理的に詳しく書くことができる。
	b	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、話して伝え合うことができる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題についての情報を、話すことができる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、伝え合う姿勢が見られる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、話そうとする姿勢が見られる。	気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、気候、環境、エネルギーといった人類共通の課題について、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression III Smart

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、TASK1・2のような形で表しています。参考にお使いください。□

4th Zone: Economies: Behind the Curtain

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞と動名詞を適切に使うことができる。 世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、考えを英語でまとめることができる。 「世界をよりよい場所にするために、どんな国際的な協力が必要か」をトピックにしてプレゼンテーションをすることができる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L10: TASK 1・2, SHARE & WRITE Step2 L11: TASK 1・2, SHARE & WRITE Step2 L12: SHARE & WRITE Step2	L10: TASK1 L12: Presentation2	L10: SHARE & WRITE Step4 L11: SHARE & WRITE Step4 L12: TASK, SHARE & WRITE Step4
知識・技能	目標	<知識> 不定詞と動名詞について理解している。 <技能> 不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、伝え合う技能を身につけている。	<知識> 不定詞と動名詞について理解している。 <技能> 不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、話す技能を身につけている。	<知識> 不定詞と動名詞について理解している。 <技能> 不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、書く技能を身につけている。
	a	不定詞と動名詞を適切に用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	不定詞と動名詞を適切に用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	不定詞と動名詞を適切に用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、不定詞と動名詞を用いて、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、論理的に詳しく書くことができる。
	a	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、論理的に詳しく書くことができる。
	b	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、話して伝え合うことができる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法についての情報を、話すことができる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする姿勢が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、伝え合う姿勢が見られる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、話そうとする姿勢が見られる。	世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、書こうとする姿勢が見られる。
	c	助けがあれば、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、世界中の人たちとwin-winの関係を築く方法について、何とか書こうとする姿勢が見られる。

be English Logic and Expression III Smart

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、TASK1・2のような形で表しています。参考にお使いください。□

5th Zone: Language and Identity

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を適切に使うことができる。 ・英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，考えを英語でまとめることができる。 ・「日本の企業は英語を公用語にすべきである」を論題にしてディベートをすることができる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L13:TASK 1・2, SHARE & WRITE Step2 L14: SHARE & WRITE Step2 L15: TASK2	L14: Debate2 L15: TASK1	L13: SHARE & WRITE Step4 L14: TASK, SHARE & WRITE Step3 L15: SHARE & WRITE Step3
知識・技能	目標	<知識> 名詞節や副詞節，論理展開を示す表現について理解している。 <技能> 名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，伝え合う技能を身につけている。	<知識> 名詞節や副詞節，論理展開を示す表現について理解している。 <技能> 名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，話す技能を身につけている。	<知識> 名詞節や副詞節，論理展開を示す表現について理解している。 <技能> 名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，書く技能を身につけている。
	a	名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を適切に用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を適切に用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，ほぼ正しい英語で話すことができる。	名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を適切に用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	適切に名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，ほぼ正しい英語で話すことができる。	名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば，名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば，名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか英語で話すことができる。	助けがあれば，名詞節や副詞節，論理展開を示す表現を用いて，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについての情報を，論理的に詳しく話すことができる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，論理的に詳しく書くことができる。
	a	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについての情報を，論理的に詳しく話すことができる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，論理的に詳しく書くことができる。
	b	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，話して伝え合うことができる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについての情報を，話すことができる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについての情報を，話すことができる。	助けがあれば，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，論理的に詳しく伝え合おうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，論理的に詳しく話そうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，論理的に詳しく書こうとしている。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。
	a	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら，自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。
	b	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，伝え合う姿勢が見られる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，話そうとする姿勢が見られる。	英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば，英語公用語化，第二外国語学習，多様性などのトピックについて，何とか書こうとする態度が見られる。